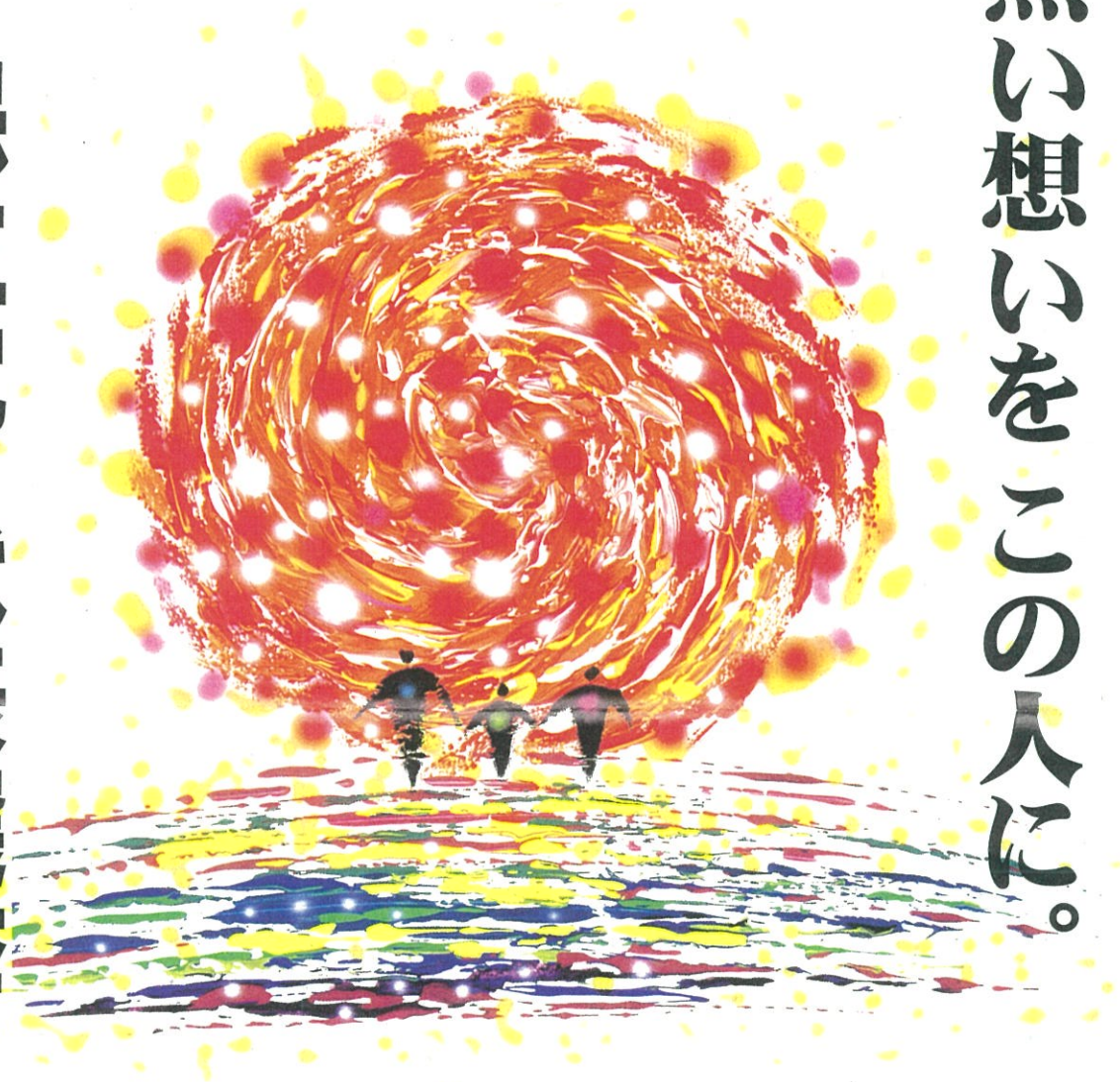
平成９年４月25日　第３種郵便物認可
民主 1999.9.13 号外 民主党広報委員会

The Democratic Party of Japan
民主党

民主党　代表選挙

熱い想いをこの人に。



民主党代表選挙候補者

横路　孝弘
よこみち　たかひろ

菅　直人
かん　なおと

鳩山 由紀夫
はとやま　ゆきお

民主党代表選挙　３候補に聞きました

鳩山　由紀夫　候補

子どもや孫の世代に残したい・伝えたいもの(こと)は？
それぞれがかけがえのない宇宙の中で役目を持って生かされているという意識。

政治にとって一番大切なことは？
自愛と利他、即ち自分自身を愛する心と他の者のために尽す心とを共に有すること。

いまの政治で最も許せないことは？
自らの保身の為に数の論理を押し立て、権力を行使して民主主義を危機に追いやること。

「私にとって民主党とは」を短い言葉で表すと？
民主政治実現の最後の砦。

自分の長所は？
人を信じること。

自分の短所は？
人を信じ易いこと。

最近読んだ本
「目覚めよ！日本」（中前　忠　他）
「深い河」（遠藤　周作）

時間があるとき、一番の楽しみは？
全く何も考えない無、空の時間を持つよう努めること。

菅　直人　候補

子どもや孫の世代に残したい・伝えたいもの(こと)は？
全ての生物が共生できる地球の環境。

政治にとって一番大切なことは？
最小不幸社会：不幸を最小化し、人間が人間らしく生きられる社会の実現。

いまの政治で最も許せないことは？
一部の人が、既得権益を守るために日本の将来を売り渡す行為を行っていること。

「私にとって民主党とは」を短い言葉で表すと？
国民（市民）が政治に参加するための道具であり、政権交代を実現する母体。

自分の長所は？
自由闊達に議論すること。具体的課題に鋭く迫る行動力。

自分の短所は？
正しいと思ったらまっしぐらに進み、多少ひとりよがりになってしまう傾向があること。

最近読んだ本
「太公望」（宮城谷　昌光）
「五体不満足」（乙武　洋匡）

時間があるとき、一番の楽しみは？
スキューバダイビング、読書。

横路　孝弘　候補

子どもや孫の世代に残したい・伝えたいもの(こと)は？
きれいな空気と水。安心して食べられる食物。友人や家族との楽しい思い出。

政治にとって一番大切なことは？
弱い立場の人への支援。平和な環境。人々の生命と生活を守り、将来の不安を解消する。

いまの政治で最も許せないことは？
盗聴法の成立。個人は国家の干渉を受けずに自由であるべき。密告と盗聴社会は許せない。

「私にとって民主党とは」を短い言葉で表すと？
21世紀の課題である平和の創造と地球環境の保全を実現していく場。

自分の長所は？
チームプレーの出来ること。集中力のあること。

自分の短所は？
慎重なこと。

最近読んだ本
「私の西洋美術巡礼」（徐　京植）
「日本の経済格差」（橘木　俊詔）

時間があるとき、一番の楽しみは？
映画鑑賞。最近、「ライフ イズ ビューティフル」と「エネミー オブ アメリカ」をみた。時々ビデオも借りる。読書は乱読。

民主党代表選挙　選挙公報
編集＝中央代表選挙管理委員会
発行＝民主党広報委員会
東京都千代田区永田町１－11－１

※各頁の候補者掲載順は抽選により決めさせていただきました。

鳩山由紀夫

昭和22年2月11日生。東京大学工学部卒業、スタンフォード大学博士課程修了。昭和61年初当選。平成5年、自民党を離党して新党さきがけ結党に参加。細川内閣で官房副長官を務める。平成8年、(旧)民主党を結党。菅直人氏とともに代表に就任。
平成10年(新)民主党が結党。幹事長代理に就任。
趣味／タッチフットボール、音楽鑑賞

日本はもっと良くなれる！

時代はニュー・リベラルを求めている

自立主義を基本にセーフティ・ネットを構築

ニュー・リベラルは、「結果の平等」ではなく「機会の平等」を保障し、自立した個人が公正・透明な市場競争を行う社会＝「がんばる人が報われる社会」をめざします。同時に、病気や年齢・性別など本人が責任を問われる必要のない部分で苦しむ不条理については、政府の公的な責任でセーフティ・ネットを用意します。「市場経済の下での社会政策の重視」――これが私のめざす「ニュー・リベラル」です。

市場競争導入による経済社会の効率化は、東西冷戦後の国際的「大競争時代」を生き抜くためにも避けて通れません。しかし、アメリカ型の市場競争至上主義を私たちは単純に追いかければよいのでしょうか？　そうではありません。市場競争至上の傾向がもたらした社会的歪み、すなわち「強いものはより強く、弱いものはより弱く」という状況に対し、深い反省と問題意識が世界中で芽生えてきています。

欧州の社民主義に学ぶべきこと

欧州においては、英国における十八年ぶりの労働党政権の成立、フランスにおける左翼連合政権の成立に続き、昨年九月にはドイツでも社会民主党と緑の党の連立政権が発足し、EU加盟十五カ国中十三カ国で旧社会主義政党が政権に参加しています。市場経済のメリットを積極的に評価しながら、雇用の安定、所得分配の公正化、環境の重視など「社会政策重視」の方向へと欧州が舵を取り始めたということで、「ユーロ・リベラリズム」と表現されています。

ニュー・リベラルは二つの意味で「二十一世紀への責任」から逃げません。一つは将来世代に対する責任です。目先の不安から逃れるため、一時しのぎのバラマキに走って国の財政と民のモラルを破壊することはもうやめにしなければなりません。今一つは国際社会に対する責任です。日本経済を再生することはもちろんですが、「力の外交」が唯一の正義であるかの風潮には、歴史的使命として異議申立てします。

総保守化に対峙する道

官主導の規制経済モデルが失速した今、高成長を前提としたバラマキも行き詰まり、日本は明日なき閉塞感におおわれています。同時に、理念も戦略もない国として、国際的地位の地盤沈下にもこの国は苦しんでいます。自自公の保守路線は、一方ではバラマキ財政出動で国民が政府に依存する状況を固定化しようとし、他方では他国に従属的な外交方針にしがみついています。失われてしまった、国として日本人としての人格の尊厳を回復し、自由の重さと民主主義の価値を一人ひとりの中に実現できるのは、現状維持と力への信仰を基礎にした保守主義ではありません。「社会正義と刷新」を掲げるニュー・リベラルです。

国民との５つの約束

一、強い経済の再生

（二十一世紀の日本を高度情報化によって活性化します）

高度情報化戦略によって「三％成長、三％金利、三％失業率」を実現します。情報技術（IT）は、日本経済の生産性を向上させる力です。規制改革や税制改革により構造改革を加速し、旧来型公共事業中心の予算構造は大胆に見直します。

［政策］高度情報化戦略の推進　IT二十一計画」、最高税率を四〇％以下に引下げ、財政再建ヴィジョンの策定、公共事業の適正化、GDPに占める公的規制分野の比率を五年で半減、小企業・零細企業に元気の出る法人税改革、所得税

二、きびしい労働環境下における正義と思いやりの確立

（自立支援の労働政策を提案しながら、市場万能経営に反論します）

雇用の流動化に対応するために、サラリーマンや女性など自立して働く人のチャレンジ精神を育てます。大胆な新規開業促進政策により、雇用を創出します。

［政策］職業訓練の抜本的拡大、働く女性・社会参加する女性に公正な年金・保険制度、新規開業を支援する税制改革（個人・企業の開業を年間五〇万件以上に）、金融機関検査の徹底

三、新しい公共心の創造

（新型NPO社会を創造し、参加型福祉社会を実現します）

NPOによる国民の社会参加や教育改革により、新しい公共心を創造します。

［政策］NPO五〇〇万人構想、バリア・フリーの法制化等による高齢者・障害者の自立支援（日本版ADA法の制定）、グループ・ホーム事業の推進、教育の自由化と授学金制度の拡充、教育現場の活性化

四、外交における自尊の回復

（主体性を回復した日米関係を再構築します）

グローバリズムと調和した「しなやかな愛国心」を日本人が持つべきだと主張します。日米同盟を維持し、アジア近隣諸国との基礎的信頼関係を構築します。自国の防衛には責任を持ちます。

［政策］平成の条約改正（米軍地位協定の改訂、思いやり予算の再点検、在日米軍基地の段階的縮小交渉）、アジア太平洋多国間安保構想、ITを駆使した軽武装の新しい専守防衛体制の構築、リベラルな緊急事態法制の追求

五、地方主権の確立

（地方分権を推進しながら、政治・行政システムを変革します）

地方の役割を大幅に増やし、身近な政策を地方が自ら行えるようにしながら、官主導体制から民主導体制へと政治構造を転換します。

［政策］地方の役割の拡大、地方の課税自主権の拡大、税財源移譲、行政への外部評価制度の導入、政府機関の事務の民間委託、国立病院や道路公団等の民営化

日本再生への挑戦

～「チャンスのある国・日本」をめざして～

衆議院議員　菅　直人

私は、日本と日本人が持てる力を十分に発揮でき、未来に夢と希望を持てる「チャンスのある国」に日本を変えていくため、次期総選挙で民主党中心の政権を作ることを目指して、民主党代表選に立候補します。

田中角栄元首相が築いた金権腐敗の政治と対決し、政官業の癒着構造を打破することが、私の政治活動の原点です。選挙に3回落選したところからスタートした私の政治人生は、決して平坦ではありませんでした。しかし、今日本に必要なのは苦労をしてでも夢を実現していく志です。民主党には次の時代を切り拓こうとする若者が、たくさん集っています。そんな若者にチャンスを与える役割を担わなければなりません。

小渕首相が推し進める自自公連立は、「数は力」の田中型政治の集大成です。今こそこれまでともに闘ってきた多くの仲間と、数合わせの自自公政治を終わらせることが私の使命と考えます。

なお私は、日本国憲法とその理念、中でもわが国の平和と繁栄に大きく貢献してきた平和主義の理念を尊重し、さらに発展させていくつもりです。

日本の再生に向けて私は、国民の皆様に次の5つのチャレンジに取り組むことを約束します。

5つのチャレンジ

1　雇用のチャンスを広げ、**安心できる福祉社会**を作ります。
2　生活重視に税金の使い方を変え、**行財政の構造を改革**します。
3　人と自然を大切に、**男女共同参画社会と環境優先社会**を実現します。
4　**公共心を育む自由な教育**を実現します。
5　政治のリーダーシップで**国民主権の政治**を実現します。

あたたかい政府 私はつくります

1 **協力・共働の社会をつくる**
行き過ぎた競争と効率万能主義を是正し、協力・共働の社会をつくります。
雇用・介護・年金・医療などにセーフティネットを張り、現在と将来の生活不安をなくし、社会を安定させます。

2 **市民が主役の政治をつくる**
利権政治をやめ、情報公開、地方分権、男女共同参画、NPOの役割尊重の市民が主役の政治を実現します。
多様な選択肢を用意し、市民が自己決定できる市民参加の社会を実現します。

3 **積極的な自立外交**
対米一辺倒の外交を転換し、米国・アジア・国連の三つをバランスさせた外交を展開します。
核軍縮の推進やODAなど非軍事の国際協力に積極的に貢献します。

4 **平和憲法の理想を尊重する**
国民主権、基本的人権の尊重、平和主義の日本国憲法は世界に誇るべき憲法です。
日本はこの憲法を堅持し、この理念を具体化し進化させます。

5 **経済を再生し、雇用不安を解消する**
ばらまき型の景気対策を改め、情報社会、環境循環型社会、福祉社会へと投資を移し、日本経済を再生させます。
金融は、必要なところに十分機能するように強化し、企業を活性化して雇用不安を解消します。

私の政策は、
ホームページでお知らせします
TEL:03-5562-5965
FAX:03-5562-5968
http://www.yokomichi.com/

現実を踏まえて
未来を見つめること
人々の生命と生活を
しっかり守ること
これが政治の責任です

よこみち たかひろ
横路孝弘

各候補者の推薦人（国会議員）

各候補者から立候補届に付して提出された推薦人名簿（民主党所属国会議員）は、それぞれ以下のとおりです。

鳩山 由紀夫 候補

足立 良平	田中 甲	石毛 鍈子	山本 譲司
石井 紘基	玉置 一弥	松本 惟子	石田 美栄
上田 清司	寺崎 昭久	家西 悟	岡崎トミ子
大畠 章宏	藤田 幸久	池田 元久	広中和歌子
小川 勝也	藤村 修	河村たかし	円 より子
古賀 一成	古川 元久	近藤 昭一	朝日 俊弘
小平 忠正	松沢 成文	末松 義規	伊藤 基隆
木幡 弘道	簗瀬 進	土肥 隆一	小山 峰男
小宮山洋子	吉田 公一	中桐 伸五	櫻井 充
田中 慶秋	渡辺 周	松本 龍	内藤 正光

菅 直人 候補

赤松 広隆	坂上 富男	伊藤 忠治	佐々木秀典
岩國 哲人	佐藤 泰介	生方 幸夫	高嶋 良充
上原 康助	竹村 泰子	川橋 幸子	辻 一彦
久保 亘	鉢呂 吉雄	桑原 豊	日野 市朗
輿石 東	松崎 俊久	五島 正規	山元 勉

横路 孝弘 候補

●民主党代表選挙の概要

○投票日（代表選出大会）
9月25日（土）12時30分～　東京プリンスホテル
（告示は9月11日）

○有権者（大会代議員）
民主党所属国会議員　146名
都道府県連所属党員を代表する代議員　各2名　計94名
衆議院選挙民主党公認候補者（現職議員を除く）　81名
合計321名

○投票方法等
無記名自署式投票とし、有効投票数の過半数を得た者が当選。
1回目の投票で過半数獲得者がいない場合は、上位二者で決選投票し、上位得票者を当選者とする。

中央代表選挙管理委員会

委員長　伊藤 英成
委員長代理　佐藤謙一郎
委員　堀込 征雄
委員　福岡 宗也
委員　千葉 景子
委員　齋藤 勁
委員　峰崎 直樹